

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	生理学Ⅰ	1	30	1年次前期	医科大学非常勤講師
	生理学Ⅱ	1	20	1年次前期	医科大学非常勤講師

テキスト(発行所)	ナーシンググラフィカ 解剖生理学 (メディカ出版)
テキスト以外の教材、参考図書	イラストで学ぶ生理学 (医学書院)

学習のねらい	看護の対象である人間の人体の機能について理解する。
学習目標	1. 人体の概要と解剖学的用語を理解する。 2. 人体の各器官系統の構造とその働きの意味を理解する。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	学習形態、他
生理学Ⅰ			
1回	骨格筋1	筋の分類とその特徴・筋収縮のメカニズム	講義
2回	骨格筋2	収縮様式 反射	講義
3回	循環器	循環器系 心臓の機能 心電図・心周期・血圧・脈拍 血管の神経性、液性調節	講義
4回	呼吸器1	換気・外呼吸	講義
5回	呼吸器2	ガス運搬・内呼吸 呼吸運動の調節	講義
6回	消化・吸収・代謝1	口腔における摂取と消化 嚥下	講義
7回	消化・吸収・代謝2	胃における消化・小腸・肝臓 小腸における消化と吸収 肝臓における消化と貯蔵	講義
8回	消化・吸収・代謝3	膵臓における消化 大腸のはたらき	講義
9回	代謝	肝臓のしくみ	講義
10回	腎機能1	腎臓の機能	講義
11回	腎機能2	体液恒常性を維持するしくみ	講義
12回	血液	血液の組成 血液凝固	講義
13回	血液型・体温調節	血液型 体温調節	講義
14回	体液調節 酸塩基平衡1	体液調節 酸塩基平衡1	講義
15回	体液調節 酸塩基平衡2	体液調節 酸塩基平衡2	講義

回数	主題	学習内容	学習形態、他
生理学Ⅱ 1回	内分泌1	ホルモンの種類とはたらき1	講義
2回	内分泌2	ホルモンの種類とはたらき2	講義
3回	生殖機能	性周期 卵子・精子の発生 妊娠と出産	講義
4回	免疫系1	免疫	講義
5回	免疫2 生体防御機構	特異的、非特異的生体防御機構	講義
6回	細胞・DNA・核酸	細胞の分化と機能	講義
7回	神経系1	神経細胞の構造 活動電位	講義
8回	神経系2	大脳皮質	講義
9回	神経系3	体性神経系 自律神経系	講義
10回	感覚器系 まとめ	聴覚・平衡覚・味覚・痛覚・体性感覚	講義

単位認定 の方法	<p>1. 生理学Ⅰ：30時間のうち、24時間以上の出席があること 生理学Ⅱ：20時間のうち、16時間以上の出席があること</p> <p>2. 生理学Ⅰの終講試験・・・100点満点のうち60点以上で合格 生理学Ⅱの終講試験・・・100点満点のうち60点以上で合格</p> <p>3. 1と2の条件を満たしていること</p>
受講上の 留意点	<p>生理学は、後に続く人体の機能障害の病態生理を理解するための重要な科目である。</p> <p>生理学と解剖学は切り離せない学問であるため、ほぼ同時期に講義を行う。</p> <p>解剖学の内容を想起しながら、講義に望んでほしい。</p>